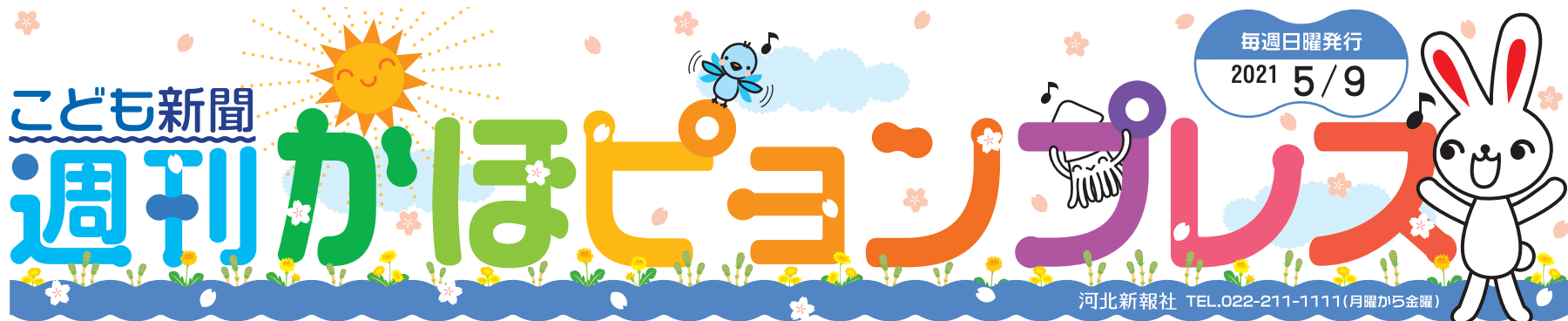




きょうのテーマ

気仙沼市月立小は総合的な学習の時間「八瀬タイム」で地域について学んでいます。自然や伝統を守り受け継いできた人の話を聞いて体験して、ふるさとのためにできることを考えます。5、6年生全8人が地域の良さや課題を考え、意見文を



## 気仙沼・月立小児童が意見文

# 自然守り継ぐ思い 未来へ

寄せてくれました。

学区内は八瀬川が流れ、山林と田畑が広がる緑豊かな地域です。「八瀬にはたくさん動物がいることが自慢」と書いたのは6年及川こころさん。テンやカモシカ、野ウサギもいるそう。「その分、動物による農作物などの被害も多い」と気になる点も挙げました。



昨年11月、当時の5、6年生は山林に出向いて学ぶ機会がありました。6年吉田和一君は「間伐された木がチップに加工されてエネルギーになったり、炭づくりに使われたりしていることが分かった。林業に関わる人が減っているのが課題」と気付きました。

「八瀬には伝統芸能がある」と文化に着目したのは6年熊谷大雅君。学校では全学年で「早稲谷

鹿踊」を、高学年は「塚沢神楽」も習得します。

「一人一人が続けることで未来につなげたい」と誓ってくれました。

6年吉田果恋さんは「昨年度の学習で木を伐採しすぎると二酸化炭素

が多くなると聞いた。なぜ二酸化炭素が増えると良くないのか知りたい」と意欲を示します。



自分たちができること



地域で間伐に取り組む人の話を聞く月立小の児童＝昨年11月、気仙沼市

を考えた6年石原莞奈さんは「植樹をしたり、山に関わる人に現状を聞いたりに地域みんなで取り組むことが大切」と強調します。

6年千葉澁太君は「八瀬の豊かな自然は地域の人が入力をするので守られている。どんな思いで関わっているのか聞きたい」と関心が広がったよう。5年菅原那友さんも「自然を大切にしてきた人の思いを未来につなげたい。八瀬の自然は今足りているのかなど聞いてみたい」と思いを巡らせます。

5年尾形咲弥君は「将来生き物を守る仕事に就きたい。人も生き物も共に生きるためにできることを考え、ふるさとの良さを未来につないでいきたい」とまとめました。

自然、環境、科学、文化と、学びの種は身近にある。みんなも地域を見直してみよう。

### 今週の注目ニュース

◇9日(日) アイスcreamの日

1964年、東京アイスcream協会がアイスの売り上げを伸ばそうと、この日をアイスcreamデーと決めたのがきっかけ。気温が上がり、冷たく甘い物が食べなくなる時期という理由で選ばれたよ。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 絵でわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

みんな思い出

みんな言いたい

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ